

桂川町社会福祉協議会だより

おおぞら

2021

No.172

令和3年5月18日(年4回発行)

〈編集・発行〉社会福祉法人 桂川町社会福祉協議会広報部 桂川町大字土居463番地1 いきいきセンター「桂寿苑」内 ☎65-2271・FAX65-4555

メール fukushi@keisen-shakyo.or.jp ホームページ <http://www.keisen-shakyo.or.jp>

桂川町ボランティア連絡協議会 発足30周年



イラスト：新 未佳

印刷・製本：今心株式会社 飯塚市横田669番地69後牟田工業団地 ☎22-2888

会長あいさつ

社会福祉法人 桂川町社会福祉協議会

会長 田中 光朗



春の日差しも和やかに、赤や黄色の花が咲き誇る爽やかな季節を迎えました。4月に入学してきた新一年生たちも元気にあいさつをして登校しています。

昨年度を振り返れば、新型コロナウイルス感染拡大のため、さまざまな行事が規制・自粛を余儀なくされ、これまで経験したことのない苦難の年となりました。

今も第四波襲来と言われ、終結に至るまでにはまだ時間を要すると思われます。この国難ともいえる事態を乗り越え、新しい生活様式の中での活気ある社会を目指し、明るく前向きな年になる様願っています。

さて、町民の皆様には、日頃より社協事業の推進に対し温かいご理解とご支援・ご協力を賜り心より感謝申し上げます。ご承知のとおり、社協の事業は乳幼児から高齢者まで福祉の分野で多岐にわたっています。この事業の活動資金は、賛助会費や赤い羽根共同募金・寄付金等多くの方々の善意に支えられており、厚くお礼申し上げます。「地域共生社会の実現を目指し、支え手・受け手、世代間や分野の関係を越えて取り組み、福祉の充実、また多様化する町民の方々からのニーズに対応するべく社協役職員一同一丸となり、「誰もが安心して暮らしていける地域づくり」を目指し推進してまいります。

ポスト・コロナの新しい福祉社会を作り上げるためにも町民の皆様をはじめ、関係機関・関係福祉団体及び福祉施設各位のなご一層のご理解とご支援・ご協力を重ねてお願い申し上げます。

ボラ連30周年

桂川町ボランティア連絡協議会は、令和2年度に発足30周年を迎えました。本来ならば、記念式典を行い、盛大にイベントを開催する予定でした。しかしながら、猛威を振るった新型コロナウイルス感染症の影響により、実現できませんでした。

そのため、この30周年を記念して冊子を発行することになりました。所属する団体からのメッセージを1年間かけて、社協だよりで紹介いたします。

豊かな老後を考える会

昭和61年に、「豊かな老後を過ごすにはどうすべきか」を高齢者自身で考えようと発足しました。以来34年間、活動を行ってきました。発足時は会員600人の大組織でした。高齢者の知的向上を主に、生き甲斐づくりと健康増進など活動が維持できたのは諸先輩の努力の賜物です。ここ10年ほどは、知的向上は程々に、「観る、行く、食べる」を主に、博物館、美術館での芸術鑑賞、フランス料理やホテルランチでおしゃべりを楽しみ、年に1度の温泉旅行で日常生活を忘れる時を楽しんできました。また、フラダンスの会は、月3回の練習と毎年の発表会を続けています。フラダンス衣装を着れば気分はダンサーになり、年齢を忘れられます。



残念ながら、「高齢化の進行と生活の多様化」「個人の尊重」「群れない人々」が進み、会員減少と役員の担い手がありません。この5年、会員は40〜50人、役員は会長と会計の2人と6人の幹事で運営してきましたが、平均年齢は80歳で企画力も

行動力も限界です。令和3年度からは老人クラブ連合会に統合し、その下部組織として全会員を対象に活動を継続します。多数の皆様のご参加で、豊かな老後を楽しみましょう。

会長 中村 寛

すみれ会

ボランティア連絡協議会発足30周年、おめでとうございます。記念すべき年に私たちすみれ会も会員として所属できていることを嬉しく思います。また30年間、ボランティア活動が出来ているのは地域住民の皆様のご理解があつてのことだと存じます。お礼申し上げます。

私たち「すみれ会」は誰もが、いきいきと生活できる地域社会づくりと会員同士の親睦を図ることを目的としている団体です。主な活動は①風のたよりの編集、②生涯学習教室（すみれ会）の開催、③社協事業への参加です。①と②は月に一度、会員が集まり活動しています。

風のたよりの主には、主に一人暮らしの高齢者世帯へ配布してもらっていますが、「毎月、風のたよりが来るのを楽しみにしている」と聞くと心が豊かになり、逆に生きがいももたっています。とは言うものの長年活動が続いているとマンネリ化は避けることができませぬ。新しい会員がどんどん入会して下されば、新しい風によって団体としての新陳代謝が進むのですが……。

数年前から編集を手伝ってくれる人を募集していました。しかし、新たな会員が増えることなく、3人の会員で編集を続けてきました。いよいよ編集作業が厳しくなり、すみれ会を解散いたします。すみれ会はそのまま継続し、俳句を掲載します。ボラ連にも加入してくれるようになりました。すみれ会に代わって、今後活躍してくれることを期待しています。これまでありがとうございました。

代表 中野美智子

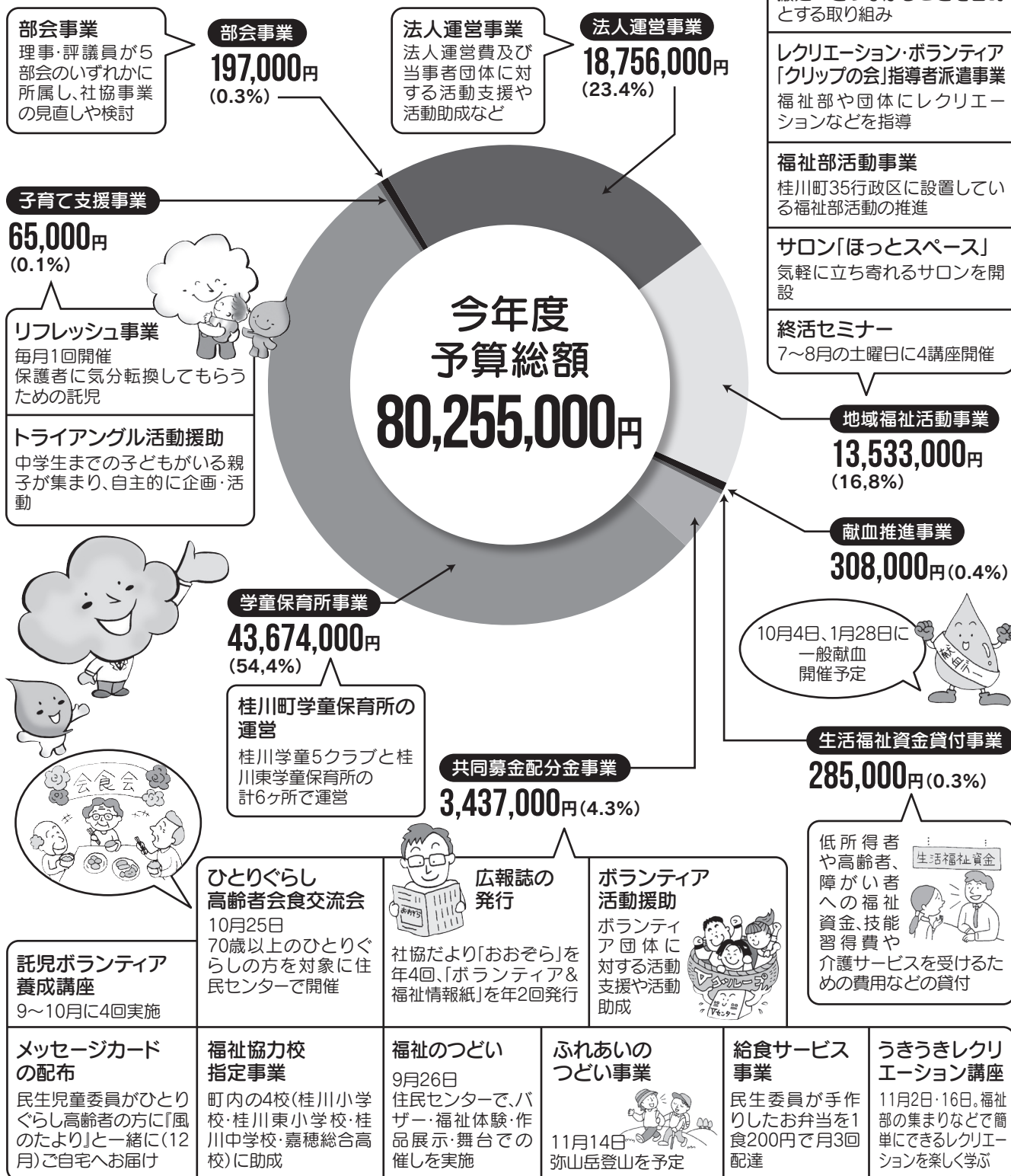


令和3年度 事業計画と予算

基本方針

桂川町社会福祉協議会は、社会福祉法に基づき、社会福祉を目的とする事業の企画運営を役職員が一丸となって取り組みます。また、コロナ禍で、人とのかかわりが希薄化し、高齢者や障がい者の孤立が進んでいます。その結果、うつ病や自殺者の増加が危惧されます。SDGsにおいても持続可能性が謳われている通り、これまでの生活様式から新たな生活様式への変革が求められています。

深刻な生活課題や新型コロナウイルスの影響による社会的孤立などの新たな地域福祉の課題にも向き合い、地域のあらゆる生活課題を受け止め、相談・支援の解決に行政、各種団体、社会福祉関係者、地域住民と連携しながら「誰もが安心して暮らせる地域づくり」を推進いたします。



桂川町在宅介護者の会に参加してみませんか？

在宅介護を行っている家族や経験者などが、交流を通じて相互の親睦を図ります。また、研修会や関係機関との連携をとって、介護に関する課題を解決し、福祉の向上を図る相談の場となることを目的に実施しています。多くの方の参加をお待ちしています。

◎対象者 ①高齢者、病人、障がい者などを介護する方 ②介護の経験がある方
③介護の知識を必要とする方など(町内の方)(6・7・8・9・10・1・2月はどなたでも参加可能)

◎年会費 1,000円

◎場 所 備考欄を確認ください。リフレッシュ事業は、ひまわりの里に集合です。

日 程	時 間	内 容	備 考	参 加 費
6月10日	10:30~12:00	勉強会① リンパマッサージ・健康相談	ひまわりの里 多目的ホール 婦人会・桂川町保健師	無料
6月26日	13:30~15:00	勉強会② 地域福祉講演会	住民センター 大ホール 講師 近所クリエイター 酒井さん	無料
7月17.24.31日 8月7日	10:00~12:30	勉強会③ 終活セミナー	住民センター 大ホール 講師 眞武 純哉さん他	エンディングノート代1,050円
9月 9日	10:30~12:30	おしゃべりサロン① DVD鑑賞	ひまわりの里 多目的ホール ぼけますから、よろしくお願いします。	300円
10月14日	10:30~12:00	歌と体操で免疫力アップ	ひまわりの里 多目的ホール 指導 池田 美智子さん	無料
11月11日	10:15~16:00	リフレッシュ事業② ハ丁トンネルを越えて筑紫野温泉	10:15 ひまわりの里出発	2,000円
12月 2日	10:30~12:00	今年度の反省・来年度の計画	ひまわりの里 多目的ホール	300円
1月13日	10:30~12:00	おしゃべりサロン② 駅長さんのお話	ひまわりの里 多目的ホール 講師 桂川駅長 阿高さん	無料
2月10日	10:30~12:00	勉強会④ 介護保険のお話	ひまわりの里 多目的ホール 講師 社協局長 三宅さん	無料
3月10日	10:30~12:00	来年度の打合せ・会員交流会	ひまわりの里 多目的ホール	700円

※新型コロナウイルス感染状況により変更する場合がありますので、事前に確認をお願いします。

※参加を希望される方は、各開催日の2週間前までに、電話・FAX・メールにて、桂川町社会福祉協議会まで、お申込ください。

ひまわりの会 年間予定表

◎参加対象 桂川町在住で65歳以上のひとり暮らし高齢者 ※会員登録(年会費1,000円)が必要です。

予 定 日	時 間	内 容	備 考
6月17日(木)	10:30~12:00	歌と体操で脳トレ 間違えて楽しく笑おう	参加費 無 料 講 師 池田 美智子さん 場 所 住民センター その他 動きやすい服装・お茶
7月29日(木)	10:30~12:00	子どもと交流 紙粘土でマグネットづくり	参加費 なし 場 所 住民センター
7月17日・24日・31日 8月7日(各土)	10:00~12:30	勉強会 終活セミナーへ参加	場 所 住民センター 講 師 眞武 純哉さん 他 エンディングノート購入費 1,050円(購入済の方は不要)
8月19日(木)	10:30~12:00	レクリエーション(弁当あり)	参加費 300円 その他 動きやすい服装・お茶、バザー品(10/21分) 場 所 住民センター
9月26日(日)		福祉のつどい	参加費 無料 場 所 住民センター
10月21日(木)	10:30~12:00	ひまわりバザー	参加費 無料 場 所 住民センター
11月18日(木)	10:30~12:00	グラウンドゴルフ大会(弁当あり)	参加費 300円 持参物 帽子、お茶、タオル 場 所 グラウンドゴルフ場
12月16日(木)	10:30~12:00	次年度の打合せ	参加費 無料 場 所 住民センター
1月20日(木)	10:30~12:00	新年会(弁当あり)	参加費 800円 場 所 住民センター
2月17日(木)	10:30~12:00	介護保険施設と福祉用具の話	参加費 無料 講 師 未定 場 所 住民センター
3月17日(木)	10:30~12:00	総会に向けての打ち合わせ (弁当あり)	参加費 100円 場 所 住民センター

※開催日の1週間前までに、必ず申し込みをして参加してください。特に食事がある場合は申込をしていないと参加できませんので、ご注意ください。※新型コロナウイルス等の感染症の状況により、予定を変更する場合があります。※参加費はあくまでも予定です。

※参加される場合は、各自で社会福祉協議会までご連絡ください。連絡なく参加された場合、弁当等の準備ができない場合がありますので、ご注意ください。

福祉部委嘱状交付式 & 地域福祉講演会

桂川町には現在35行政区があり、それぞれに福祉部が設置されています。福祉部では年間計画に基づき、福祉部長や福祉員が中心となり、サロンの開催や世代間交流、見守りや声かけなどさまざまな活動に取り組んでいます。

地域の子育て、高齢者が集まるサロンの活動拠点か

ら、住民すべてが担い手となり、見守りや声かけが更に広がり住民同士のつながりを深めるための仕組みづくりを学びます。

誰でも年齢を重ねると出来なくなることが少しずつ増えていきます。そんな時、なかなか言えない『助けて』を言える地域づくりをみなさんと一緒に考えます。



期 日 6月26日(土)

場 所 住民センター『大ホール』

時 間 12時45分 受付

13時00分 福祉部委嘱状交付式

13時10分 特定健診について

13時20分 福祉部活動の実践報告

13時30分 地域福祉講演会

講 師 近所福祉クリエイター 酒井 保さん

※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、中止または延期となる場合があります。



▲令和元年度講演会

福岡県立嘉穂総合高等学校

桂川町の花である「ひまわり」の苗を本校で育て、町民の方に贈呈し、土居三区広場、ひまわりの里、桂川郵便局、社会福祉協議会などに多くの花を咲かせることが出来ました。

更に豪雨被害を受けた朝倉市の杷木小学校と大牟田市立みなと小学校、道守ネットワーク大牟田に「ひまわり」の苗を贈りました。みなと小学校では児童と一緒に花壇に苗を植え、大牟田駅前にも植えていただきました。

また「王塚古墳6色グミ」を開発し、王塚装飾古墳館に來られた方に配布していただきました。



▲大牟田市立みなと小学校



▲大牟田駅前のヒマワリ



▲王塚古墳館へグミ贈呈

学童保育所「夏休み」のみ利用児童募集

学童保育所は、保護者が就業や疾病などのために、保育を必要とする家庭の児童に対し、安全の確保や健全育成を図るための施設です。

夏休み期間中だけの利用を希望する方は、下記のとおり申込をお願いします。

対 象 町内小学校に在籍する小学1年生から6年生

募集定員 桂川学童保育所 若干名

桂川東学童保育所 若干名

保育日時 7月21日(水)～8月31日(火)(日曜日・祝日は除く)
8時～18時30分

利用料 子ども一人6,000円(2人目以降3,750円)
傷害保険料一部負担800円

※保護者会費やおやつ代などが別途必要

申込期間 6月1日(火)～18日(金)

申込用紙 各学童保育所、社会福祉協議会、住民課、
子育て支援課で5月14日(金)から配布

申込先 桂川町社会福祉協議会(いきいきセンター「桂寿苑」内)
※土・日・祝日を除く8時30分～17時15分まで
各学童保育

※日・祝日を除く14時～18時30分まで

学校が休みの土曜日は8時～18時30分まで



▲子どもたちにエールをおくるコンサートに招待されました

活動の紹介



今回は生活介護
けいせんで利用者
さんに人気のある
活動をランキング
形式でご紹介させ
ていただきます。

ではさっそく、人気の活動第5位、ぬり絵。『大人の塗り絵』といった少し難易度が高いものを好まれる方が多いです。では続いて、第4位、パズル。パズルに関しては大体30〜60ピース位の15分程度で完成するものが好まれています。これ位の量だとあまり疲れなくて良いですね。続きまして第3位、レクリエーション。毎月季節に応じた催し物をゲームなど

を取り入れながらワイワイみんなで楽しく行います。

日頃、好きな活動を各々で選んで、楽しむといったスタイルなのですが、月に1〜2回のレクリエーションは皆さん集中も切れることなく楽しまれています。続きまして第2位、スクラッチアート。これは、あらかじめ黒などで塗りつぶされた用紙に単色で絵が描いてあり、絵の線をなぞるだけでカラフルで綺麗な絵が手書き風で完成する秀逸品です。これは、一番流行っています。ダイソーなどでも気軽に購入できますので皆さんもぜひ試してみてください。

では堂々の第1位の発表です。第1位は外出活動。コロナウィルスの自粛期間があつたにも関わらず不動の第1位。外出は通常の日用品の買い物を週1回。外食活動を月に1回。コロナの影響もあり、現在でもできる限り職員が代行したり、テイクアウトを利用しています。以上、生活介護けいせんで人気の活動ランキングでした。今後ともよろしく願っています。

管理者 野中和明



古民家風の温かみのある食堂をイメージしています。日頃から小屋作りや、ビー

新たな挑戦

昨今のコロナ禍により、利用者の方々が楽しみにしている外出が減ってしまいました。その楽しみを少しでも補える様に作業所の食堂をリニューアルしようと考え、現在利用者の方々と共に改装工事を行っています。

ホームセンターで材料を調達し、



ルハウス作り、建物の修繕を行っているとはいえ、悪戦苦闘する場面も多々ありました。しかし、難しい工程も持ち前の前向きさで一生懸命取り組み事ができていました。

製作し、今年1月から開始した工事も時間はかかりましたが、やっと終盤にまで差し掛かってきました。

以前とは違った雰囲気のある食堂で、楽しい食事の時間を過ごしてほしいと思います。

やはり人にとって衣食住とは生きる基本になります。その中でも食事は欠けてはなりません。

コロナ禍ということで感染予防の為に行動が制限されていく中で、ストレスを溜めずに心の健康を守るには、皆で楽しく食事をすることが心身の健康にも繋がっていくのではないかと考えます。

支援員 大村栄理

お知らせ

テレビ出演多数のカリスマ講師と一緒に楽しく学ぶ「終活セミナー」
～終活はおもしろい!を体感しましょう!～

エンディングノートを活用して「人生の棚卸し」と「安心の備え」をしませんか?

日程	内容
7月17日	贈与?相続?どっちがお得?
7月24日	終活と介護保険制度の話
7月31日	お墓に関する深い話
8月 7日	エンディングノート活用術

講師 終活パートナー九州 代表 眞武 純哉 氏他
時間 10時～12時30分
場所 住民センター「大ホール」
定員 30名
参加費 1,050円(桂川版エンディングノート購入費)

エスディー・ジーズ

SDGsに一步前進

社協は内閣府が推奨する「地方創生SDGs官民連携プラットフォーム」に入会しました。

課題の解決に貢献し、地方の持続可能な開発、すなわち「国民一人一人が夢や希望を持ち、潤いのある豊かな生活を安心して営める地域社会を形成すること」を目標とする地方創生に資するものです。

「誰一人取り残さない」という合言葉の下で、17の目標(ゴール)に向かって、活動推進に努めていきます。皆様のお力も必要となりますので、ご協力をよろしくお願いします。



苦情解決体制について

桂川町社会福祉協議会の事業について、利用者や関係者など皆さまからの苦情に適切に対応するため、下記担当者が解決に努めます。

なお、職員には言いにくい相談や職員の説明に納得できない場合は、第三者委員に直接申し出ることもできます。

また、本会事業やサービスについて、お気づきの点がある場合は、ご遠慮なく連絡をお願いいたします。

苦情解決責任者	三宅 浩志(事務局長)
第三者委員	原中 政道(社協監事) 電話 65-3011
	尾崎 龍司(社協評議員) 電話 65-2295
苦情受付担当者	花岡 早織(職員)
	河原 美奈子(職員)
	中山 真弓(学童支援員)
	伊藤 祐子(学童支援員)
桂川町社会福祉協議会 電話 65-2271	

問合せ先 桂川町社会福祉協議会(いきいきセンター「桂寿苑」内) ☎65-2271 FAX65-4555

ありがとう
ごさいます



香典返し寄付金

令和3年2月1日～令和3年4月30日

●土居 伸二様(故妻 榮子様)
●高木 和義様(故母キヨ子様)
●川波 和義様(故母キヨ子様)
●吉隈 藤井嘉代子様(故夫 政隆様)
●吉隈 三 傳蔵様
●前川 芳中 スガ工様
●寿命 梶原久美子様(故夫 太吉様)
●土師 和宏様(故母 澄子様)
●樋口 俊一様(故母 濱子様)
●秦 俊一様(故母 濱子様)
●第二豆田 文明様(故父 英雄様)
●大塚 幸子様(故夫 明様)
●井上 幸子様(故夫 明様)
●東京都 株式会社ダイナム福岡 桂川店様(日用雑貨品)
●一般寄付金
●グレインヒルズ 伊藤 法智様 (車イス借用お礼)
●物品寄付
●寄付金合計 186,000円

ありがとうございます

生活雑貨等贈呈

3月19日、株式会社ダイナム福岡桂川店様からトイレットペーパー・ラップ・洗剤などの日用雑貨品を寄贈いただきました。ダイナムグループ様は、全国にある社会福祉協議会に地域貢献の一環として、さまざまなものを寄贈されているとのことです。寄贈いただいた物品は、社協事業などで有効に活用させていただきます。



飯塚保護司会桂川分区 マスク寄贈

飯塚保護司会桂川分区様から、福祉施設等や生活困窮に関する相談者に渡してほしいと不織布マスク80箱(50枚入)を寄贈いただきました。

新しい生活様式では、マスクは必須です。受け取った方々は「大切に使用させていただきます」と大変喜ばれています。



このひとに聞きました



ひぐち 槌口さん
あつし 淳さん



プロフィール

◎年齢 77才
◎住所 土師一
◎趣味 庭の手入れ

■聞き手
尾崎 龍司
今田 貴美子

社協の会長を務められた経験を持つ槌口さん。外見からも温厚な性格が伝わるように、優しく語りかける口調でインタビューにお答えいただきました。

Q1 現役の時はどのようなお仕事をされていたのでしょうか？

農業政策に係わる仕事です。農家の家に育ち、幼い頃から農業を継がなければならぬと思っていました。そのため農業高校に進学し、もつと農業について学ぶため、農業講習所（現福岡県農業大学）に進みました。その後、県職員に採用され、兼業農家の道を選びました。

Q2 退職後、いろいろな地域活動をされていますね？

退職後はこれまでできなかった地域への協力をしようと思いましたが、農業の傍ら、区長・農業委員・人権擁護委員、土師の獅子舞のお世話などに関わりました。平成18年に社協の理事になり、その3年後から4年間社協の会長を務めました。最後の地域貢献活動として、現在はお寺の門

信徒云に携わっています。

Q3 これまで関わった中での思い出はどんなことですか？

地域の農業者が要望された農業関係施設を関係者と一体となつて完成させたことです。特に農業者の方々の喜びの顔が今でも忘れられません。

Q4 地域活動を続けることができたのは、どうしてだと思いますか？

どの活動の場においても、関わってくれた人達がいい人ばかりだったからです。それと、私自身が健康な状態であり、積極的に活動に参加できたからだと思います。

Q5 楽しみや趣味はありますか？

これまでにゴルフ、魚釣り、卓球、謡曲などいろいろなやつていました。もともと庭木の手入れが好きでしたが、時間をつくつての作業でした。現在は、優先した時間を持つことができるので、楽しみの柱です。しかし、お寺のお世話も大切な時間なので、忙しく感じることもあります。

『和』を以って、人と接する

編集後記

2031年 桂川町出身のアナウンサー誕生？

桂川「ひまわり」アンビシャス広場では体験活動として、毎年実施する体育館に蚊帳を張ってのキャンプ・科学館へのバスハイクがコロナ禍のために中止となりました。代わりに何か行いたいと考え、「確かな実践力を持つ自立した児童の育成」に役立つ、現役アナウンサーの高橋早紀氏を講師に招き、「話す力で明るい未来を！」と題して、5年生・6年生を対象に出前授業を実施しました。

仕事について、発声練習や早口言葉

さらにプロが教える！読み方のポイント

①ゆっくりと。はっきりと。意味を理解して伝えよう

②「。」と「。」まで、一気に読む

実践ではアナウンサーになりきり、台風情報の天気予報を滑らかな口調で、はっきりとアナウンスを行いました。その姿はとても誇らしく桂川町出身のアナウンサーが誕生した瞬間を見た思いで大変感動しました。

講師から最後に「伝えることよりも伝わることが大切」と学ぶ、楽しい実践授業ができました。

今回の出前授業でコミュニケーション力・表現力が身につく確かな実践力を育む体験活動が実施出来たと思います。

広報部会員 河部 寛



絵：桂川中2年 齋藤 成実

エンディングノートを記してくれて『ありがとう』

この度、私●●●●は、寿命によりあの世に旅立つことになりました。これから私の祖父母、父母それに平成二十八年六月十八日に浄土に先行した二男の導きを得ながら大宇宙の塵となり、この世の移り変わりを心安らかに見守っていきたいと思います。

昭和十七年、日本が真珠湾攻撃をなし、ミッドウェイ海戦で海軍力を失うことになった時の七月十一日に六人兄弟の三番目として生を受けました。戦後の大変な時に熊本県立山鹿高等学校、鹿児島大学に進学させて下さり感謝しています。ひねくれ者と言われた私に「喜び」「怒り」「哀しみ」「楽しみ」を与えてくれた家族にご苦労さん、また、そのような私に長い間付き合っていた方々に感謝申し上げ、私のこの世を旅立つに当たっての言葉とさせていただきます。

長い間ありがとうございました。

この文章は、本人のエンディングノートに書かれていたものです。夫●●●●は、令和三年三月四日、満七十八歳にて生涯をとじました。共に歩み、人生を豊かに彩って下さった皆様へ、深く感謝申し上げます。本日はご多用中、ご会葬いただき誠にありがとうございます。略儀ながら書状にて謹んでお礼申し上げます。

喪主

その人にとって最後のイベントでもあるお葬式。大切な人が亡くなり、遺された家族は葬儀までの短い時間にいろいろと考えなければなりません。専門家の助言はありますが、このようにエンディングノートを残しておくことで、家族の負担も大きく軽減されます。また、当人の意に沿って送り出せるのは、どちらにとっても心残りがないように感じます。

今年度も終活セミナーを開催し、桂川版エンディングノートの活用を推進します。ぜひ、参加してみませんか？

(詳細は7ページに掲載)